

## 入札監理小委員会における審議の結果報告 航空灯火施設維持工事

国土交通省所管の航空灯火の維持管理業務については、平成 23 年度以降、全 29 空港で順次民間競争入札を実施しているところ。

平成 26 年 12 月から 22 空港において 3 年 4 か月間の契約により民間競争入札を実施する旨、公共サービス改革基本方針（別表）に定められている。

これに基づいて、国土交通省から提出された民間競争入札実施要項案を入札監理小委員会において審議したので、その結果（主な論点と対応）を以下のとおり報告する。

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
H23. 4 及び H26. 4 年度開始 3 空港（※1）							
H24. 4 及び H26. 12 開始 22 空港（※2）				契約			
H25. 4 開始 4 空港（※3）							

※1 新千歳、東京国際、福岡

※2 稚内、釧路、函館、三沢、新潟、百里、小松、八尾、美保、広島、岩国（\*）、徳島、高松、松山、高知、北九州、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇

（\*）平成 27 年度開始事業より、開港した岩国空港を追加

※3 仙台、成田、中部、関西

### 1. 事業の評価を踏まえた対応

#### 【論点】

前回の民間競争入札実施業務（平成 24～25 年度業務）に対する、内閣府評価（本年 6 月に入札監理小委員会にて審議）を踏まえ、必要な対応がなされているか。

#### <内閣府評価の内容>

21 空港中 19 空港において 1 者応札となったことから、公告期間の延長、広報誌への掲載、周知・啓発活動等積極的な情報開示に加え、これまでの入札監理小委員会での議論を踏まえ、4ヶ年の国庫債務負担行為で初年度を歳出化ゼロとする予算要求を行い、入札手続きを前倒しで行うことにより、事業実施のために十分な準備期間を確保すること。

#### 【対応】

26年度予算要求で27年度事業の「稚内空港ほか21空港の航空灯火・電源施設の維持管理業務」から、十分な準備期間を確保するために4ヵ年国債で初年度を歳出化ゼロとした予算要求をおこない、本実施要項案に盛り込んだ。(資料1-2 一連番号16頁、19頁)

これにより、各空港について、26年11月下旬に開札及び落札予定者等の決定を、また12月中旬に契約締結を行うこととなり、これまで約1ヵ月であった事業実施までの準備期間を4ヵ月に伸長できる見込みである。

### 2. 実施要項案の主な修正点

上記1.に加え、実施要項案及び仕様書等について、必要な修正を行った。

#### 【対応】

- (1) 監視室駐在作業における勤務体系（特に休憩時間に関する記載）について、民間事業者にとって誤解の無いよう修正を行った。(資料1-2 一連番号10頁、11頁)
- (2) サービスの質及び水準について、表現の適正化を行った。(資料1-2 一連番号12頁、13頁)
- (3) その他、所要の修正を行った。

### 3. パブリックコメントの結果

平成26年7月28日から8月8日までの間のパブリックコメントの結果、2者より6件の意見が寄せられた。

#### 【対応】

意見を踏まえ、実施要項案及び仕様書について、業務内容や語句の明確化・適正化等、必要な修正を行った。

以上